

2021 年度卒業生学修成果アンケート報告

2022 年 5 月 12 日 教学部委員会

2022 年 3 月学位記授与の日に、2021 年度卒業生を対象として大学での学修成果に関するアンケート調査を行った。対象となる学生数は 189 名、アンケート回収数は 164、回収率は 86.8%であった。一昨年度・昨年度に引き続き、学科ごとに学位記授与を行い、その時にアンケートを実施した。

1. 質問項目

アンケートでは、以下の 12 の能力に関して、学生自身が、大学での授業および活動を通じてどの程度身につけていたと考えるか、ということを探ねた。

- ①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解
- ②専門的な知識・技能
- ③ICT 能力（パソコン等を用いて、情報を収集・分析する能力）
- ④コミュニケーション能力（意思疎通，協調性，自己表現能力）
- ⑤外国語能力
- ⑥物事を論理的に考える力
- ⑦文章を作成する力
- ⑧プレゼンテーションをする力
- ⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度
- ⑩社会への奉仕の精神，および人を思いやる心
- ⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力
- ⑫社会的，職業的に自立して生きていくための就業力

これらの能力の多くは本学のディプロマ・ポリシーで挙げられているものであり、①②は、ディプロマ・ポリシー「1. 知識・技能」、③④は「2. 技能」、⑨⑩は「3. 態度・志向性」、⑪は「4. 総合的な学習経験と創造的思考力」に対応している。それ以外の⑤⑥⑦⑧⑫は、一般に、大学教育で修得，向上が目指されるべきと考えられる能力である。

回答選択肢は、「とても身についた」「ある程度身についた」「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の 4 つとした。以下、「評価点」と呼ぶものは、それぞれを 3 点，2 点，1 点，0 点として算出した平均点である。

2. 全学のアンケート結果

全学で、「身についた」という評価が高かったのは、「④コミュニケーション能力」（3 点満点中 2.42 点）、「②専門的な知識・技能」（2.39）、「⑩社会への奉仕の精神，および人を思いやる心」（2.38）であった。ただし、両項目とも 2020 年度卒業生の評価から低下した。

相対的に評価が低かったのは、「⑤外国語能力」（1.78）であった。外国語能力についての評価は、これまでのアンケート調査でも最低であった。ただし、評価点は 2020 年度より高く、

低評価の割合（「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の合計）は 35.9%と 2020 年度（57.0%）から低くなり、改善が見られた。外国語能力の低評価は例年において本学の課題となっている。一昨年度の報告において、「入学時から英語、外国語に対する苦手意識を持っている学生が少なくないと思われるが、これらの授業を通じて少しでも苦手意識を克服してもらいたい」と指摘されており、今年度も同様の指摘をしておきたい。

「③ICT 能力」（2.19）「⑨グローバルな視点」（2.05）も比較的低評価であり、この 2 項目も例年通りの傾向であった。低評価の割合は、「③ICT 能力」が 15.9%、「⑨グローバルな視点」が 21.4%であり、どちらも 2020 年度から悪化した。

3. 学科別のアンケート結果

学科別で見ると、最も評価が高いのはトータルビューティ学科とスポーツ健康学科であり（いずれも 2.34）、次点は国際交流学科（2.30）であった。3 学科ともほとんどの項目で 2 以上の評価となっており、バランスのよい学修成果が出ていることがわかる。評価点が低かったのはアート・デザイン学科（2.08）であった。

心理臨床・子ども学科では④、⑥、⑧、⑩で高い評価が得られた一方で、⑤と⑨が全学科で最も低く、教学面の課題が明確となった。

国際交流学科ではすべての項目で 2 以上となっており、特に①と④の評価が高く、学科カリキュラムの特徴が反映された結果と言える。

スポーツ健康学科は昨年度に引き続き⑤を除いて全体的に評価が高く、特に④⑥⑦⑧⑩⑪⑫が他学科と比べて高い点特徴的である。学修成果において卒業生の満足度が高いと言える。

医療工学科は目立って高い評価項目はないものの「②専門的な知識・技能」（2.45）が高い。全体的にも⑤を除いて安定して高い傾向となっており、昨年度と同様の傾向が見られた。

健康栄養学科も②が比較的高い一方で、2 項目で 2 を下回る評価となった。特に⑨は昨年度に引き続き評価が低く、継続した改善課題と言える。

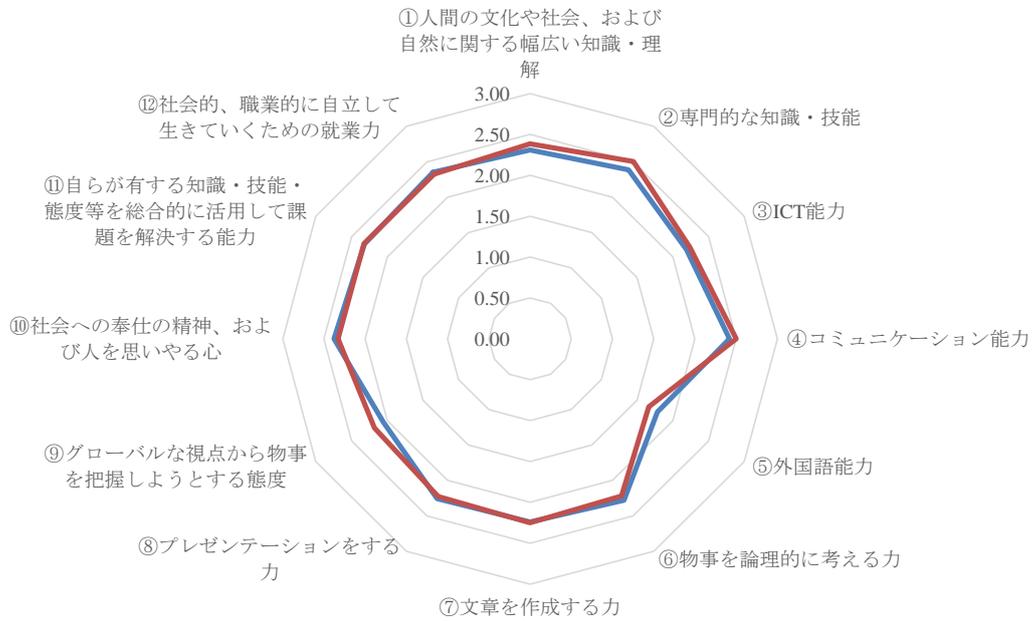
アート・デザイン学科は②が全学科で最も高く、他の 8 項目も 2 を超えているが、⑤、⑧、⑨が 2 を下回っている。とくに⑧は全学科で唯一 2 を下回っており、これは昨年度には見られなかった傾向である。

トータルビューティ学科では②、⑩、⑫で高い評価が得られ、他のすべての項目も 2 を超える安定した評価が得られており、卒業生の満足度が高いことを示す結果となった。

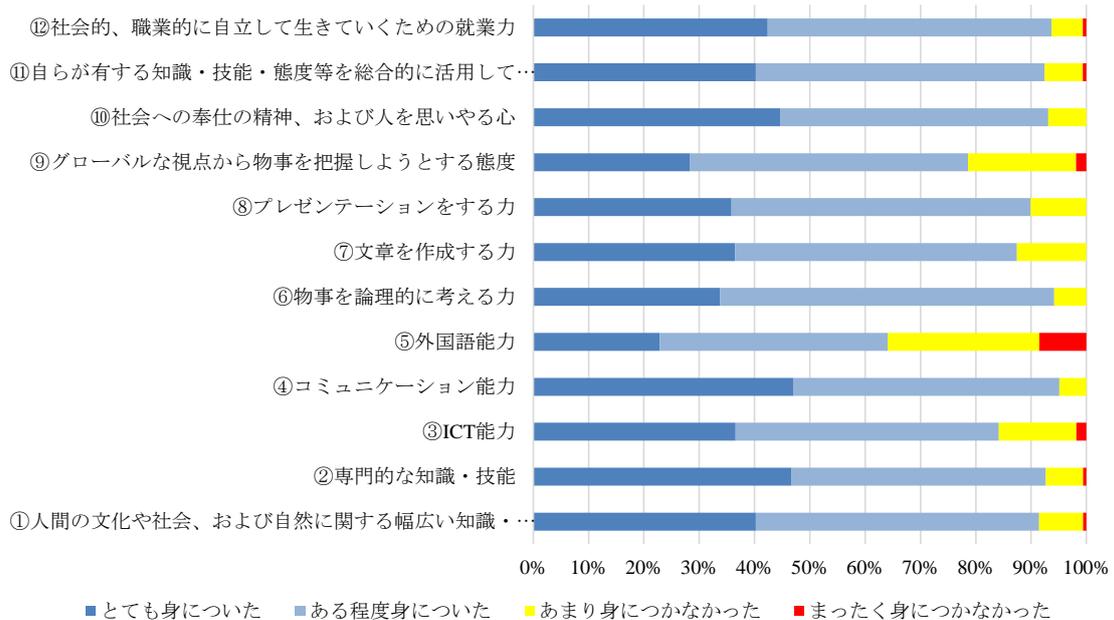
全学平均評価点 2.25 は昨年度と同程度であり、過去 6 年間（2016 年度 2.18、2017 年度 2.18、2018 年度 2.10、2019 年度 2.19、2020 年度 2.26）を見渡すと定傾向が見られていることから、教学面での改善の成果が得られていると言える。学科別の評価はカリキュラムの特徴が評価に反映された結果に見える。一方で、一昨年度から指摘されているとおり、学科の特徴を強調するあまり、専門的な知識や技能への偏りが懸念される。外国語能力に加えて、ICT 能力やグローバルな視点の獲得など、今後の社会を生き抜くために必要な知識、能力をバランス良く身につけさせることが今後の課題といえる。

全学評価点

— 2021年度 — 2020年度



全学回答比率



	心理臨床 (15名)	国際交流 (22名)	スポーツ (56名)	医療工 (38名)	健康栄養 (12名)	アート (10名)	TB (11名)	全学 (164名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	2.13	2.55	2.34	2.32	2.08	2.20	2.27	2.31
②専門的な知識・技能	2.20	2.23	2.36	2.45	2.58	2.60	2.50	2.39
③ICT能力	2.33	2.27	2.27	2.03	2.00	2.10	2.27	2.19
④コミュニケーション能力	2.60	2.45	2.57	2.29	2.25	2.10	2.27	2.42
⑤外国語能力	1.40	2.23	1.79	1.52	1.64	1.90	2.33	1.78
⑥物事を論理的に考える力	2.46	2.23	2.38	2.12	2.27	2.10	2.33	2.28
⑦文章を作成する力	2.33	2.18	2.39	2.03	2.27	2.00	2.33	2.24
⑧プレゼンテーションをする力	2.47	2.36	2.41	2.06	2.09	1.80	2.22	2.26
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	1.80	2.27	2.13	2.03	1.82	1.80	2.11	2.05
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	2.40	2.32	2.46	2.33	2.18	2.20	2.56	2.38
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	2.27	2.18	2.46	2.31	2.18	2.10	2.33	2.32
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	2.20	2.32	2.53	2.22	2.36	2.00	2.56	2.35
平均点	2.22	2.30	2.34	2.14	2.14	2.08	2.34	2.25

学科別低評価割合 ※「あまり身につかなかった」「まったく身につかなかった」の割合

	心理臨床 (15名)	国際交流 (22名)	スポーツ (56名)	医療工 (38名)	健康栄養 (12名)	アート (10名)	TB (11名)	全学 (164名)
①人間の文化や社会、および自然に関する幅広い知識・理解	6.7%	0.0%	7.0%	10.0%	20.0%	0.0%	11.1%	10.0%
②専門的な知識・技能	13.3%	7.7%	7.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.9%
③ICT能力	13.3%	15.4%	14.0%	3.3%	26.7%	0.0%	0.0%	11.5%
④コミュニケーション能力	6.7%	0.0%	7.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%	5.4%
⑤外国語能力	46.7%	15.4%	44.2%	53.3%	73.3%	0.0%	0.0%	42.3%
⑥物事を論理的に考える力	7.7%	23.1%	7.0%	3.3%	6.7%	0.0%	11.1%	8.5%
⑦文章を作成する力	13.3%	7.7%	7.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
⑧プレゼンテーションをする力	6.7%	0.0%	9.3%	16.7%	20.0%	0.0%	11.1%	12.3%
⑨グローバルな視点から物事を把握しようとする態度	40.0%	7.7%	7.0%	16.7%	46.7%	0.0%	11.1%	13.8%
⑩社会への奉仕の精神、および人を思いやる心	6.7%	7.7%	4.7%	6.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.2%
⑪自らが有する知識・技能・態度等を総合的に活用して課題を解決する能力	13.3%	0.0%	7.0%	3.3%	0.0%	0.0%	22.2%	4.6%
⑫社会的、職業的に自立して生きていくための就業力	13.3%	15.4%	4.7%	3.3%	13.3%	0.0%	22.2%	7.7%